



ほいそめ

誓いの言葉

- 一、わたしたち商工会女性部は、女性の特性をいかし、地域振興発展の良き協力者であるとともに推進者となります。
- 一、わたしたち商工会女性部は、商工女性の使命感に徹し、組織活性化の原動力となります。
- 一、わたしたち商工会女性部は、社会一般の福祉の増進に努め、豊かなまちづくりの担い手となります。



第22回全国大会 in おおいた 会場にて

ひとりひとり

皆様“一人々”が虎の如くフロントランナーとして
駆け抜ける年にしましょう！

山梨県商工会女性部連合会

会長 河内 正子



花の便りが聞かれる今日この頃、皆様におかれましては女性部活動にご参加とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年、第10代商工会女性部連合会会長に就任させて頂き、身の引き締まる思いでございます。長引くコロナ禍ではありますが、全力で取り組んで行く所存でございますので、よろしくお願い致します。

さて、令和4年の干支では「壬寅」、36年に一度の「五黄の寅」の年です。水の流れるごとく、金回りが良くなり、華々しく物事が生まれる年。運気が最も強く、社会で活躍する女性が最大となる年と言われております。

そんな昨今ですが、目に留まった新聞記事がありました。女優の草笛光子さん(88歳)は、「いつまでも走り続けたい」と話されており、女性の活躍と人生百年時代を印象づける内容でした。また、堀内詔子さんが山梨県出身の初の女性大

臣に就任され、活躍されております。さらには、南部町商工会の遠藤洋子さんが、関東ブロック代表として女性部全国大会へ出場し、「南部町の宝物見つけた！特産品生姜復活！」と題して発表しました。心からエールを送りたいと思います。

なお、今年7月には、11年ぶりに、関東ブロック商工会女性部交流研修会が山梨県(河口湖ステラシアター、ハイランドリゾートホテル&スパ)で開催されます。県内女性部の力を結集し、来県される皆様を「おもてなし」して、心に残る大会にしていきたいと思っております。

また、主張発表大会に、山梨県代表として出場して頂く、道志村商工会の山口かおるさんには、頑張っていたきたいと思っております。

むすびに、私も微力ではありますが、皆様のご協力をいただきながら、共にフロントランナーとして活動して参ります。皆様のご健勝とこの災禍が一日でも早く収束し、平穏な生活が訪れますことをご祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

令和3年度 商工会女性部 交流研修会

Communication Training Session



【最優秀賞】 山口 かおる（道志村商工会）
女性部活動と地域振興・まちづくり
～継続し伝えるモノ 花咲かばあさんを目指して～

【優秀賞】 三枝 美紀（韮崎市商工会）
女性部活動と地域振興・まちづくり
雨宮 千鶴子（笛吹市商工会）
女性部活動に参加して～女性部員の健康と笑顔を～

令和3年11月29日(月)、ホテルマウント富士において、女性部活動の資質向上と活性化を目的に交流研修会を開催、「女性部の活動と地域振興・まちづくり」「女性部活動に参加して」をテーマに各ブロック代表3名が活動を通じて得た体験や成果を発表しました。今年度も、感染症拡大防止のため、会場での飲食はできませんでしたが、多くの部員に参加して頂くことができました。

最優秀賞は、「15年以上続く花植え活動による地域振興活動」を紹介した道志村商工会女性部長の山口かおるさんが受賞し、令和4年7月に本県で開催される、関東ブロック主張発表大会に山梨県代表として出場します。

第2部では、県内で活動されている、シンガーソングライター「チャンティー」のピアノによる演奏会が行われ、披露された懐かしい名曲を口ずさみながら、優雅なひとときを過ごしました。

商工会女性部交流研修会に参加して

山梨県商工会女性部連合会 副会長 雨宮 千鶴子



紅葉も終わりに近づき、すぐそこに冬が待っている寒い中、山中湖村のホテルマウント富士にて令和3年度「商工会女性部交流研修会」が開催されました。昨年度は主張発表が延期になりましたが、本年度の参加者は127名。皆と久しぶりに会う喜びとともに、マスク越しに元気に挨拶をかわして式が始まりました。商工会女性部の歌、誓いの言葉は大きな声を出せないのでも心の中で力強く歌い、誓いました。

開会後は、県女性連・河内正子会長、県連・中村己喜雄会長から挨拶があり来賓の方から御祝の言葉をいただきました。

第1部「主張発表」は女性部の活動と地域振興、まちづく

りをテーマに韮崎市、道志村、笛吹市の女性部員3名が発表しました。1番目、韮崎市商工会・三枝美紀さんは、部員の高齢化が進み若手部員の加入推進をきっかけに昨年女性部に仲間入りをして、継続事業、最近始めた事業、商工会で開催された勉強会がきっかけではじめてのお店作りの取り組みを女性部にも広めて、女性部活動の一助となれるよう頑張りたいと発表しました。2番目の笛吹市商工会・雨宮千鶴子は、「部員の健康と笑顔を」と題して高齢化により部員数が減少していくなか、いつまでも元気に女性部活動に参加して欲しいと願い、3年前から始めた健康教室を通して生活習慣病、体に良い食事など学んだ事について発表しました。3番目は最優秀賞に選ばれた道志村商工会・山口かおるさんです。「継続し伝えるモノ 花咲かばあさんを目指して」と題して迫力のある発表をされました。令和4年度に開催される関東大会に山梨代表として出場していただきます。

第2部は、シンガーソングライター・チャンティーさんによる演奏会。ピアノの弾き語りがとても心地良く聞き入ってしまいました。みんなが知っている歌を歌ってくださり楽しい時間を過ごすことができました。

また別会場では、女性部の「いっぴん」出展販売があり買い物を楽しむ姿がありました。

終了したとき、外はもう暗くなり夜景を見ながら帰路につきました。とても有意義な交流研修会となりました。

女性部活動と地域振興・まちづくり ～継続し伝えるモノ 花咲かばあさんを目指して～

道志村商工会女性部 山口かおる



昔々、あるところに一人のおじいさんがいました。おじいさんは、なんでも屋だったので、村人からは「よろづ屋じいさん」通称「よろじい」と呼ばれておりました。

ある日のこと、誰にお願いされたわけでもなく、病気のモノを救いたいと思い立ち、相模の国の境から遠く七里離れた峠の山を目指し旅にでました。病気を抱えるモノを見つけると、患部を切り、切り口には薬を塗りと繰り返しました。一人黙々と雨の日も風の日も旅と治療を続け、季節は春になりました。

すると、治療を受け元気になったモノたちは、それはそれは見事な桜を咲かせました。「よろじい」は桜の木の治療を行っていたのです。そして「よろじい」は、いつしか花咲かじいさんと呼ばれるようになりましたとさ…。

これは昔話などではなく、私の住んでいる道志村に実際にいる方のお話です。

申し遅れましたが、私は道志村商工会の山口と申します。

道志村は山梨県の南東に位置し、北は道志山塊、南は丹沢山塊と一千メートルを超える山々に囲まれ、東の相模原市との県境から、西の山中湖村との村境の峠まで、標高差約760メートル28キロにおよぶ一本道から、道志七里と呼ばれる自然豊かな村です。その標高差が評価され、東京オリンピック自転車ロードレースのコースに選ばれました。

村の中央を流れる道志川は、明治の頃より横浜市の水源地となっており、その澄んだ水を活かしたクレソン栽培は日本トップクラスの出荷量を誇ります。

また、「日本で一番キャンプ場の多い村」とメディアで取り上げられるほど、多くのキャンプ場があり、他にも民宿・旅館といった宿泊施設や温泉施設も立ち並び、美しく豊かな自然の四季を一年通して楽しむことが出来る、観光立村の村です。

女性部員の多くが観光業に携わっており、私自身も家族と共に民宿を営んでおります。

女性部では環境美化活動の一環として、一里 4キロメートルごと7か所に設置された七里塚と呼ばれる塚の清掃活動等を行ってきました。しかし、同じような活動は村の他の団体でも行っており、この活動が果たして商工会女性部として観光に活かされているのだろうか？と疑問を抱くようになり、何度も何度も話し合い、もっと「おもてなしの心」が目に見える事業を行ってはどうだろうという結論に至りました。

「おもてなし」の言葉の意味は、

①「裏表がない」

・相手に対して裏表のない心で接するということ。

②「モノをもって成し遂げる」

・モノとは具体的な「物」だけでなく、「心」や「気持ち」も含まれる。

それならばこの自然豊かな村に、もっと彩を添えて目で楽しめる「おもてなし」をしようと、国道沿いの交差点にある百坪ほどの遊休地を借り、花畑を造る計画を立てました。

この交差点を先に進むと、村営の温泉施設や何軒ものキャンプ場があり、訪れたお客様の目に留まりやすいと考えたからです。

作業は荒れ地の開拓から始まり、手探り状態の中、青年部や地域住民の皆様の力も借り、約4か月かけ、平成15年11月に完成しました。

そこに初めて花を植えた時の感動と喜びはひとしおで、20年近くたった今でも皆が集まると話題にあがるほどです。

完成した花畑には、毎年春と秋の2回、約2,000株の花の苗を植え、景観を保つため定期的に草取りを行っています。

夏場の草取りは日中暑いからと、夜明けとともに始めますが、草むらに潜むブヨの大群に襲われることもしばしば。目や唇を刺され福笑いのようにぼこぼこになった顔を互いに見ては大笑いしていると、疲れも吹き飛びます。

参加者の中には、宿泊しているお客様の朝食を提供するまでのわずかな時間を割いて参加してくれる部員もいます。

その時その時の状況を理解し合い、協力し20年近く花畑の維持を頑張ってきたのは、自分たちが苦勞して、一から造り上げたものだと言及が自負しているからです。

この活動は多大な評価を受け、平成24年度に環境大臣表彰を、令和2年度には経済産業大臣表彰を受けることが出来ました。

話は変わりますが、花畑の先には道志小中学校があります。クラス10人前後の小規模校です。中学校では、生徒がふるさとを愛し、誇りに思ふ気持ちや、奉仕的精神、社会貢献の心を育むための学習時間が設けられています。

3年前、私の孫が中学校に入学した縁もあり、その学習時間を利用し花畑の花植え体験をしたいとの申し出がありました。

花畑の整備には体力と人手が必要ですが、近年は女性部の高齢化が進み、作業は青年部の力も借りています。

中学校からの申し出は人手不足解消の解決策として願ったり叶ったりでした。

作業に入る前には、事前学習として過去の作業時の写真を使い、長年の取り組み内容や、部員の気持ち、携わってくれた地域の人たちのことを説明し、花植えに臨んでもらうようにしました。

そして作業当日、生徒全員が手袋と長靴を身に着け、スコップ片手に花畑に入ると、いつもは一日かけて植えている広い花畑が

「あれ？こんなに狭かったっけ？」

「あれ〜 2時間で植え終わった!？」

と感動してしまいました。やっぱり大勢っていいですね♪

しかし昨年の春と秋・今年の春は、新型コロナの影響で、授業時間の確保や密になることを防ぐため、中学生との共同作業は叶わず、とても残念な気持ちで女性部と青年部で花植えをしていると、

「いつもキレイにしてくれてありがとうございます！」

次の花植えには必ず参加しますね」と、通学してきた生徒が声をかけてくれ、驚いたと同時にとても嬉しくなりました。

また、今年の春には東京オリンピック自転車ロードレースに向けて、老朽化した花畑の看板を新しくすることになり、共同での作業が叶わなかった中学生に花畑の名前を募集しました。その結果、今まで大勢の人が携わり造り上げたモノだからと、「みんなの花畑」に決まりました。

この名前の元、中学生の「裏表のない」純粋な気持ちと、「花畑というモノを持って長年成し遂げた」活動がずっと続いてくれることを願っています。

ここ数年、村の中には花畑や花壇が増え、彩がすごく増えていると感じています。

私たち女性部が始めた「おもてなし」の事業は、今では村や青年部、中学生をも巻き込んだ大きな事業になっています。

自分たちにとって住みやすい村、美しい村は、観光で訪れるお客様にとっても温かく心地良い村だと思って頂けるのではないのでしょうか。

今後も私たちは、この活動に自信と誇りをもち、体力が続くまで継続し、「おもてなし」の心を忘れず、地域のために何ができるか、何を残せるかを考え、いつの日か「花咲かじいさん」のように「昔々あるところに花咲かばあさんたちがおりました…」と後世に語り継がれるよう邁進していこうと思っています。

ご清聴ありがとうございました。



Title

関東ブロック商工会女性部 交流研修会に参加して

南部町商工会女性部 副部長 田部井 英乃

令和3年6月24日(木) 関東ブロック商工会女性部交流研修会が長野県の「ホテルメトロポリタン長野」で開催されました。

今年度は、新型コロナウイルスの状況の中、参加人数を制限しソーシャルディスタンスを保ちながら1都10県 50名の参加で行われました。会場では長野県 女性部の皆さんが笑顔で出迎えてくれました。

例年であれば大勢の部員が参加し、手作りグッズ等で応援コールができましたが今回はできずに残念でした。その分私達は精一杯の拍手で応援しました。

本県代表として出場した遠藤洋子部長は生姜ジャム、シロップの商品化で成果をあげた事例を発表しました。聞いていた私達部員も苦労した事を思い出しましたが、最優秀



賞をいただいた事で努力が報われ、感極まるものがありました。しかも関東ブロックでは山梨県が2連覇を達成して嬉しく思います。

優秀賞は東京都の小峰育子さん

～女性部活動の「継続の重み」を実感して～

施設の窓ふきを28年間続けていくうちに高齢化になり仕事が大変になってきたが、若い世代が入りやる気が増してきた。小さな事でも続ける事によって女性部の絆と信頼しあうものが多かった。長く物事を続けていく大切さ「継続は力なり」を感じました。

優良賞は静岡県のお得居はなみさん

～浅羽の魅力発見！もう何もないなんて言わせない～

社会学習の講演会を聞き、一人の人物「浅羽佐喜太郎」について調べていくうちに次々に発見があり、なんと何もない所と思っていたが偉大な人物がいたことが発見となり地域貢献につながった。各商工会ともに素晴らしい発表でした。

オープニングアトラクションは二胡 高山賢人さんの演奏で、ピアノ 高山史子さん、ドラム 山田和矢さんのコラボレーションが最高でした。

聴いて心がほぐれ晴れやかな気分になりました。また、規模縮小開催によりYouTubeでの同時配信が行われ、参加できなかった人達も視聴することができて良かったです。便利になったな、とつくづく時代の流れを感じました。

一日も早くコロナウイルスが収束し、女性部活動の活気が戻ることを切に願ひ、全員の参加ができる日を心待ちにしております。コロナ禍の中、開催の為に尽力いただいた皆様にも心より感謝いたします。

Title

第22回 全国大会 in おおいた に参加して

山梨県商工会女性部連合会 副会長 鈴木 保子

令和4年2月14日～15日、「日本一の温泉県大分沸き出す女性パワーで真心のおもてなし」をスローガンに、第22回商工会女性部全国大会が、別府国際コンベンションセンターで開催されました。

新型コロナウイルス感染症拡大の真ただ中、心配と緊張を胸に、各自抗原検査を強いられ、陰性を確認した後、山梨県からは7名で出発をしました。

全国6ブロックの代表者が一堂に会し、関東ブロック代表として我が山梨県から、南部町商工会女性部の遠藤洋子さんが発表をしました。南部町の特産品(生姜)復活をテーマに10年以上試行錯誤をしながら、旬の生姜が収穫される期間限定商品である、生姜ジャムと生姜シロップを作り、町のPRに繋げている内容でした。少人数での活動継続には、一重に互いに思いやる気持ちと部員の努力の賜物だと思います。発表後には、早速生姜の問い合わせ

や注文等が入って来たそうです。遠藤さんの発表が心に響いたのだと思います。全国6ブロックを勝ち進んで来た代表者6名の方々の内容、表現全てが素晴らしく、甲乙つけ難い発表でした。最優秀賞は近畿ブロック代表、福井県の杉早苗さんに贈られました。池田町の未来を子供たちと一緒に、をテーマに人口2,400人の人と人との結びつきを大切に、人作りをしたいとの内容でした。そのパワーは素晴らしかったです。

基調講演では、4大会連続パラリンピック出場19世界選手権で世界女王に君臨した、義足のジャンパー中西麻耶さんでした。塗装会社で働きながら国体出場を目指していた2006年9月、勤務中落下して来た鉄骨の下敷きとなり、右足の膝下から切断したそうです。どんな時でも諦めない、へこたれない強い心を持つ事が必要、との講演内容でした。

新型コロナウイルス感染拡大の中ではありましたが、とても充実した研修に参加することができ、貴重な経験をととして、商工会女性部の絆を感じさせられた全国大会でありました。ありがとうございました。



部員増強と東京オリンピック

南都留中部商工会女性部

副部長 渡辺政美

私達、南都留中部商工会女性部は、さまざまな事業を計画しましたが、コロナ感染拡大の為、ほとんどの事業が中止となってしまいました。このような年でしたが、部員増強運動だけは役員で行いました。

この部員増強には、追い風もありました。コロナ禍の為、さまざまな給付金や本県グリーンゾーン認証申請などの支援・相談に応え、商工会の会員が増加したことです。これらは職員の努力の賜物だと思います。女性部役員は、新規会員の女性部加入に力をそそぎ、その結果、令和3年度全国大会で、名誉ある2位という表彰を受けました。大変嬉しく思っております。

また、私達女性部の活動として、東京オリンピック、パラリンピックのために、一昨年に作成した指さし会話集で、ソーシャルディス

タンスを保ちながら、おもてなしの練習を行いました。

令和3年、一年遅れの東京オリンピック、パラリンピックが開催され、忍野村でも八海の周りを聖火ランナーが力強く走りました。世界文化遺産の構成資産である忍野八海に来た観光客にとって、指さし会話集とマップが役に立ったことと思われます。

また、オリンピックでは、競技として、山中湖村がロードレースのコースに選定されました。私達女性部員も少人数で応援に参加しま

した。そこでは私達女性部の部員が加入している

「山中湖姫まりもの会」の方々と、さらには、着ぐるみの「マリピーちゃん」と一緒に選手が来るのを沿道で待ちわびました。通り雨が降り、びしょ濡れ

になって大変でしたが、世界を代表する一流選手が来た時には、自転車の風圧に圧倒され、一生に一度の素敵な思い出ができました。

これからも、私達商工会女性部は、地域振興・発展の推進者となるとともに、その仲間づくりとして部員の増強に努めていきたいと思っています。



こんな活動しています！



青年部・女性部 合同研修会

～事業承継セミナーに参加して～

大月市商工会 部長 油井弥生

大月市商工会女性部では、私と副部長の2名、商工会からオンライン(ZOOM)で参加しました。それぞれ小売業、飲食店を営んでいますが、後継者はまだ決まっていない状況です。後継者問題は、経営している職業(業種)によっても違うと思いますが、一言では解決できません。どうしても先送りしてしまう問題だと思いますが、前に進むには、後継者の選定が不可欠です。家族、仕事に関わっている者とよく話し合っていかなければなりません。その上で、事業承継で引き継ぐ「資産」「知的資産(信用)」を考えていくべきだと改めて思いました。

今回のセミナーを受講して、改めて後継者について真剣に考えていかなければと思いました。「引き継ぐものとは何か」

「準備期間がどのくらい必要なのか」「引き継ぐ資産は財産だけではない」などのお話がありました。引き継ぐ資産として、「知的財産」の話では、「取引先との関係(信用)」や「経理(帳簿)」など普段、何気なく行っている仕事も引き継ぐ資産だと説明もありました。第3者(商工会や税理士など)が関わることで、スムーズに進むことがあるそうです。

事業承継に関する課題は先送りせず、何でも商工会へ相談してください！と資料にもありました。商工会は心強い味方だと思います。これからも頼りにしています。

事業承継に関する取組のまとめ

項目	社長・奥様(譲る人)	後継者(承継する人)
経営	・後継者を決めて、その意思を確認する ・社長は引継ぎの日を予め決めましょう ・奥様も経理、総務業務の引継ぎも	・後継者としての覚悟を持つこと ・従業員との組織としての関係づくり ・会社の財務の状況を理解する
資産	(法人)・株価の評価 ・役員貸付、借入の整理 ・個人資産と事業用資産の整理(土地、建物、現預金) ・事業用資産に絡む相続問題の事前の決定、道筋	
知的資産	・後継者とのコミュニケーションに努める ・後継者の信用、人脈づくりに協力する	・まずは社長の考えを受け入れる →その上で改革を！ ・必要な資格を取る

できることから

北杜市商工会女性部
部長 跡部恵美

女性部活動も思うように行えないコロナ禍の中、何か新しい事業をしようと事前に全部員にとったアンケートをもとに正副部長で検討をしました。副部長から飲食店等で揚げ物に使用して古くなった油の処分に困っているとの声をきき、環境にやさしく環境浄化に役立つとして、廃油を使った石鹸作りを行うことにしました。

コロナウイルス感染症対策のため、密をさけ参加者は役員限定での開催となりました。役員さんには、家にある廃油と牛乳パックを持参してもらいました。講師の指導の下、廃油と水の分量を計量する担当と香りづけのためのオレンジの皮を薄くむき汁を絞る担当に別れ作業が始まりました。計量した廃油に苛性ソーダを加えると化学反応で煙が発生し、容器も熱くなってきます。十分に換気をして肌につかない

よう慎重に容器のなかの液体を木べらで交代しながらよく混ぜていきます。20分程かき混ぜ続け、やっと茶色いところのある液体が出来上がります。用意しておいた牛乳パックの八分目くらいまで液体を注ぎ、蓋をして涼しい所へ放置して終了です。2週間後、楽しみに牛乳パックの蓋を開けてみると、カチカチに固まった石けんが出来上がっていたので感動しました。今回初めて廃食油石鹸作りを体験する役員さんもいて、和気あいあいと楽しみながら作ることが出来ました。作った石鹸は、コロナウイルス感染症拡大防止により人数が制限され、参加できない部員さんもあるため、切り分けラッピングして、手帳と一緒に配布しました。石鹸を手にした部員さんからは、油汚れがよく落ちる、次回はぜひ参加したいと大好評です。



いつものような活動はできませんでしたが、できることから少しずつ活動していこうと思います。それまでは感染症対策をして、元気でコロナに負けないように、みんなと一緒に協力していきたいと思っています。



Activity content

山梨県商工会女性部は、

こんな時、だからこそ

上野原市商工会女性部
部長 佐藤ひで子

新型コロナウイルスが全世界を騒がしてから約2年になり、ようやく収束かと思っていたところに、今度はオミクロン株が蔓延してしまいました。

私達女性部は、この2年間、活動はもちろん顔を会わせる事もままならない状態でしたが、どうにか常任委員会を開き、昨年からの部員の要望だった『スマートフォンセミナー』を開催。少しでも女性部を理解していただけるようにと、全会員に案内状を発送。部員以外の参加もあり、安全を考慮し少人数でしたが、楽しいセミナーができたと思感しています。今の時代、何がなくともスマホです。ほとんどの人が片手に携帯を持っている今日。講師は山梨県商工会連合会専門家でもある渡辺宗正先生のご指導のもと、①アレンジした花を被写体に上手に写真が撮れる方法、②行きたい所、お店など家から地図でたどり着ける方法、

③自分ではなかなか使いこなせない事を知っておけば便利な事等。セミナーの参加者は興味を持ってくれ、これからの続行に期待しているとの事。そして、今回のセミナーが加入に繋がればと思いました。

そしてふと思いました。以前、活発にしていたおまんじゅう作り、牛倉神社の例大祭での焼きそば出店、商工祭での豚汁作り、準備はもちろん部員一同が一丸となって行ったあの頃を…。女性部のこれまでの歳月をふり返ってみると、とりまく環境が良く、一人一人が女性部を愛し強く思う気持ちがあったと思います。旧秋山村と旧上野原町が合併し上野原市民となった今日、少々寂しくなった商店街に活気が戻る事に努力が必要です。

令和3年度は、女性部員一人一人と接してみたいと私なりに決心。前進、やれる事からやってみようと、手渡しで女性部手帳を配り歩きました。そんな中、寂しい声もあり、女性部の高齢化が進んでいる事も実感。でも、頑張ってくださいと笑顔で声かけする中、大切な事もいっぱい収穫もありました。

今回配布と一緒に心ばかりのお花を添えて、尚一層の会話もあり、安堵感もあり胸がいっぱいになった事に感謝でした。



中央市商工会

人と地球にやさしい地盤のスペシャリスト！ 株式会社アースフレンドカンパニー

マイホーム建築やお庭づくりの外構工事から自然素材による防腐防蟻処理工事、また最新の機械による地盤調査と地盤改良工事でご家族皆様の健康、財産、環境を守ります。お気軽にお問い合わせください。全ての工事にメンテナンス及び10年～30年保証付



最新の地盤調査と
地盤改良工事



庭からの素敵な贈り物を

株式会社アースフレンドカンパニー

住 所：中央市布施1268-1
電 話：0120-915-274・0120-972-745
F A X：0120-915-279
E-mail：info@earth-friend-09-20.com
U R L：https://earth-friend-09-20.com/
注文方法：0120-972-745もしくはWEBにて



いっぴん
やまなし

山梨県商工会女性部連合会
セレクション

県内女性部員の事業所には、魅力ある商品・製品・サービス等がたくさんあります。今回は、県内女性部より推薦された4事業所をご紹介します。女性部員事業所の自慢の「いっぴん」をぜひ一度ご賞味、ご利用ください。

※記載してある価格は、
令和4年1月末
現在の価格（税込）です。

身延町商工会

老舗のから揚げ 玉川楼

当店は身延山門前町で100年余り食堂を営んでいます。その中でも地元の人はもとより、観光客からも好評な、サクサクでジューシーな鳥のから揚げがあります。新鮮な国産肉を使用し、店主こだわりの醤油ベースの秘伝のタレに漬け込み、揚げたて熱々のから揚げを提供するよう心掛けています。是非、久遠寺参拝帰りにお立ち寄り、ご賞味いただけますようお待ちしております。



店内1人前5ヶ500円/テイクアウト5ヶ480円～



玉川楼

住 所：南巨摩郡身延町
身延3800
電 話：0556-62-0026
注文方法：店内で直接注文
テイクアウトはお電話による注文賜ります

山梨市商工会

焼きたて！サクサクスコーン 工房STANGL

オーストリア出身の夫と東京都出身の妻で山梨市に移住しました。食品添加物や保存料を使わず、山梨県産の果物や卵を使ってヨーロッパ菓子を製造し、こだわりの自家焙煎珈琲と共にキッチンカーで販売しています。



販売当日に早起きして焼いており、バター薫るサクサクスコーン、ベーコンペッパー、焦がし玉ねぎ、季節の自家製ピール(柚子・レモン・あまなつ)等、多数揃えております。サクサクスコーン200円
賞味期限:当日中



固定店舗なし。
移動販売のため、
その都度異なります。
毎月第1日曜日 勝沼朝市
第2日曜日 山梨市朝市
第3日曜日 参道市
詳しくはInstagram、
Facebook、Twitterへ！！

工房STANGL

住 所：山梨市北2171-10
電 話：080-1062-7230
E-mail：kobostangl@gmail.com
注文方法：移動販売のため、
売っている場所にお越しください。

河口湖商工会

こだわりの蕎麦粉を使った河口湖の絶品蕎麦屋 みずの風

吟味した石臼挽き国産蕎麦粉100%使用した蕎麦はコシがあり、喉越しもよく。旬の自家栽培野菜中心の天ぷらと一緒にどうぞ！南魚沼産こしひかりを使った天井もご賞味ください。



天ぷらそば 1,740円



天井 1,320円



みずの風

住 所：南都留郡富士河口湖町大石1461
電 話：0555-76-5151
F A X：0555-76-5151
E-mail：sobakaze@gmail.com

▶▶ Bishoujozukan

美商女図鑑

いきいきと活躍する魅力的な
女性部員を紹介します。

#25 MIKI OKUBO



▶▶ 今回の美商女図鑑は…

早川町でラフティングをはじめとする川でのスポーツのガイドツアーを行う「本流堂」の大窪さんにお話を伺いました。ラフティングとはゴムボートを使用した急流下り、同じボートに乗った仲間と力を合わせて川を漕ぎ下る、スリル&爽快感を味わい、全身で川を楽しむレジャースポーツです。

早川町商工会女性部員

大窪 美樹さん Miki Okubo



- 本流堂
- 住所: 〒400-0501 南巨摩郡早川町千須和697-1
- TEL: 0556-45-2225
- URL: <http://www.honryudou.jp>



● この仕事についたきっかけは？

自然や生きものが好きで、早川町内の施設で自然ガイドと宿泊業の仕事をしていました。次第に、自然だけでなく、

自然に合わせたこの地の暮らしそのものに興味を持つようになりました。

そんな折に自営でラフティング業を営む主人と知り合い、3年前から本流堂で仕事をしています。山で捕れたシカ肉を食べたり、近所の方に教わりながら大豆を作ってお味噌にしてみたりと、やりたかった生活にチャレンジしつつ、陸上スタッフとして、受付や事務などを担っています。

● お仕事をするうえで心掛けている事はなんですか？

お客様がお越しになる前のやり取りのほとんどを行っているので、お客様が不安なくお越しいただけるよう、丁寧なやり取りを心掛けています。また、せっかく奥山までお越しいただいたお客様に、ラフティング以外にも山梨県を満喫していただけるご案内がしたいと思い、休日はよく県内の温泉やお食事処巡りをしています。それが自分の楽しみの一つです。

● 仕事をしていて嬉しかったこと、大変なこと

私は川に出ることが減多にありません…。なので、夏の暑い日に、ボートに乗って下っていく楽しそうなお客様を川岸から毎日お見送りするのは、「私も一緒に行きたいなあ〜」と羨ましく、辛い時間です(笑)



嬉しいことは、以前いらしたお客様がまた遊びに来てくれた時。同じ川でも、川のコンディションや、一緒に下る仲間やガイドが違えば、新しい冒険が待っている

ので、何度でも楽しめます。ツアーは、3〜11月まで開催しています。お子様からご年配の方まで体験できますので、ぜひ一度体験していただきたいです！

● これからやってみたいことは？



県内の武川中学校で、ラフティング体験と、川についての講師として、座学をさせていただく機会がありました。子どもたちが地元の川で遊び、学び、未来を考える

きっかけを作ろう！と、意気込んで取り組みました。その経験を機に、レジャーとしてのラフティングだけではなく、環境教育の要素も取り入れていくことで、川に恩返しができるかなあと考えています。

富士川には、驚くほどゴミが落ちています。その多くは、ペットボトル、お弁当の容器などの生活ゴミです。勿論、ゴミを捨てていく人が一番問題ですが、人の暮らしから川が離れてしまい、河川環境の悪化に気づけなくなってしまうことも大きな原因のように私は思います。ですが、舟運や釣りを生業にする人もいなくなった今、暮らしと川を結びつけることは中々難しい時代。だからこそ、ラフティングというレジャーを通して、川に綺麗な水が豊富にあることの大切さをお伝えしていきたいです。



● 女性部に加入したきっかけは？

町内の女性部の方にお声かけいただいたのをきっかけに加入しました。

まだ加入したばかりで中々参加できていませんが、活動を通して、地域の方との輪を広げられるのをとても楽しみにしています。

▶▶ Bishoujozukan

美商女図鑑

いきいきと活躍する魅力的な
女性部員を紹介します。

#26 NAOKO HOSAKA



富士川町商工会女性部員

保坂 尚子さん Naoko Hosaka



- 光明石の湯 いち柳ホテル
- 住所: 〒400-0501 南巨摩郡富士川町青柳町293
- TEL: 0556-22-0008
- URL: <http://www.ichiyanagi-h.co.jp>



▶▶ 今回の美商女図鑑は…

中部横断自動車道、増穂ICから車で5分。地元
の食材を生かした料理と、天然ミネラル鉱石
を使ったお風呂が人気の宿「光明石の湯 いち
柳ホテル」。2代目女将さんをご紹介します。

● お仕事の内容を教えてください

フロント業務を主に担当していますが、地元の食材を中心に使っているお弁当が人気で、配達に出る事も多くなりました。また、オリジナル商品のアイスや柚子ポン酢、ジュースは、主人がホテルを継いでから考案した商品で、道の駅富士川やみたまの湯などで販売していますので、納品にも出掛けます。



● この仕事についたきっかけは？

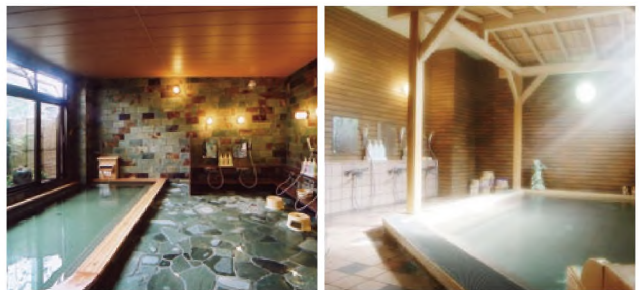
公務員として働いていましたが、先代女将である母が亡くなり、その後父も病で倒れてしまい、主人が社長に就任するのと同時に仕事を辞め、女将としてスタートしました。

● お仕事をするうえで心掛けている事はなんですか？

お客様から頂いた声を大事にしています。様々なご意見やご要望などをできる限りお応えできるよう心掛けています。特に地域の皆さんから頂く意見が多いです。時には厳しい意見もありますが、みなさんがホテルの事を思っていて下さっている事がわかるので、とても嬉しいです。

● この仕事をしていて嬉しかったことは？

ビジネスで長期宿泊されるお客様も多いのですが、久々にお見えになった時も「ただいま」と言っていただいたり、学生の時に合宿で来ていた生徒さんが大人になって来てくれたり、長いお付き合いができることがとてもうれしいです。温泉だけの入浴もできるので近所の方もよく利用して頂いて、声をかけてくださいます。



● これからやってみたいことは？

コロナ渦で厳しい状況ですが、令和3年に駐車場を利用して「富士川湯つくりマルシェ」というイベントを行いました。他業種の方々が出店し、500名近いお客様に来ていただきました。第2弾も令和4年の春に開催を計画しているところです。「みんなで頑張っていこう！」「地元を盛り上げていこう！」と地域の皆さんと協力して、地域活性化のためにも続けていきたいと思っています。

● 女性部に加入したきっかけは？

地域の方々のお誘いと、主人の後押しもあり、加入しました。最近はイベントも少なくなりましたが、出店のお手伝いや、県外への研修旅行などに、年齢は違いますが、諸先輩方と一緒に楽しく活動しています。現在は、副部長をさせていただいています。他の町の方々ともお話しする機会があったり、良い刺激をいただいています。

▶▶ Bishoujozukan

美商女図鑑

いきいきと活躍する魅力的な
女性部員を紹介します。

#27 MIKI SAIGUSA



藤崎市商工会女性部員

三枝 美紀さん Miki Saigusa



- 洋菓子アルプス
- 住所: 〒407-0024 藤崎市本町1丁目-3-3
- TEL: 0551-22-0252
- URL: <https://www.porta-y.jp/gourmet/8186>



▶▶ 今回の美商女図鑑は…

旧甲州街道から藤崎駅前通りを藤崎駅に向
かって、左側にあるお店「洋菓子 アルプス」の
三枝美紀さんにお話を伺いました。

● お店とお仕事について

昭和45年、藤崎駅前通りに1階は洋菓子店、2階は洋食店として開業。27年前に、2階の洋食店を藤崎市中田町清里ライン沿いにある「道の駅にらさき」前に移転、それをきっかけ



に1階を改装し、洋菓子専門店にして「洋菓子アルプス」と、洋食店「マイルストーン」の2店舗を営業しています。

● この仕事についたきっかけ

結婚を機に、洋食店と洋菓子店を任せられ夫婦二人三脚で歩んできました。今は息子が、洋食店「マイルストーン」のシェフとして、また、娘も事業を手伝ってくれ家族で2店舗を営んでいます。

● 仕事をするうえで心掛けていること

飲食に携わるお店なので清掃には一番気をつけています。お客様が気持ち良くお買い物をしてくれるように、毎日掃除をして、お店の前に水を撒くと、お店と一緒に自分も清められた様な気持ちになります。

● このお仕事をされていて嬉しかったこと、大変なこと

仕事をしていて嬉しい事は、お客様の「笑顔」がみられることです。お買い物をして「また来ます！」と嬉しそうな笑顔で帰られる姿を見られる事は何より嬉しいです。

大変だったことは、洋菓子店を任せられた当初に、金融機関勤めだった私は、畑違いの慣れない仕事と休みが取れないことや育児も重なり、生活サイクルが崩れてしまい、慣れるまで苦労しました。

● これからやってみたいこと、目標など

2015年にノーベル医学・生理学賞を受賞された藤崎市出身の大村智博士と縁があり、その偉業を残したいという思いで、オリジナルクッキー「にらさき咲咲」を販売しています。

自分のできる範囲で、後世に残していきたいと思っています。また、私のお店は「見える化」の活動を、13年前からおこなっています。店のガラスに貼ったポスターをはがし、目隠しになっている植木を取り除き、どんなお店なのか、外から自分の店の店舗イメージを「見せる」活動です。活動を始める前は、お店の前に植木を置いたりして店舗の中が見えない状態でした。「見える化」で店舗前を片づけ、外から見て一瞬で「ケーキを売っている」とわかるようになり、お客様が増えました。実践したことにより私自身がとても良い活動だと実感したのでこれからもこの活動を続けて、商店街の活性化につなげたいと思っています。

● 女性部に加入したきっかけ

洋菓子店は私一人できりもりしているので、女性部活動に参加できない事が多く、ご迷惑をお掛けするのではと思い、初めはお断りしましたが、女性部役員の方の熱意に打たれて加入しました。役員が協力して部員の加入推進の巡回をして、何か新しい事が出来なかと、頑張っている姿と、お声をかけていただけた縁を大切にしたいと思いました。その縁で、今年の女性部の主張発表大会へ出場させて頂き、県内の女性部員の方にお会いする事が出来て、加入して良かったと思っています。



商工会女性部 「災害対策100円積立基金」の報告

全国統一「災害対策100円積立基金」事業は、自然災害等により被害に見舞われた商工会女性部に対し県女性連を通じて義援金を送ることにより、全国の女性部員が一丸となって、相互扶助を図ることを目的としております。

○ 取り組み状況

「災害対策100円積立基金」
取り組み基金額
(令和3年12月現在)

全 国	8,301,888円
山梨県	162,100円

○ 災害対策費の拠出状況

令和3年12月現在、以下のとおり拠出しました。

令和3年8月豪雨災害	佐賀県女性連	300,000円
------------	--------	----------

部員増強運動を実施

本年度、コロナ禍の中においても組織強化と帰属意識の高揚を目的に、令和3年9月1日～12月31日までを『県内統一加入促進強化期間』とし、純増1%アップを目標に部員増強運動を実施しました。

コロナの影響により女性部事業に苦慮する中、強化促進期間の新規加入者27名となりました。強化期間中の純増は、1.7%を達成することができました。部員増強の取り組みとして、パンフレットや商工会のお知らせを利用した女性部事業のPR、未加入事業所への役員職員での巡回、商工会役員配偶者へ加入推進を行うなどが新規加入に繋がりました。

引き続き、地域が一つとなり、女性部活動へご協力をお願いいたします。

なお、強化期間内の成績優秀な女性部とブロックに対して、令和4年度の県女性連の通常総会の席上で表彰を行う予定です。

令和三年度の表彰

受賞おめでとうございます。

令和3年11月11日開催の
全国大会において受賞されました。

— 中小企業庁長官表彰 —

優良女性部
甲州市商工会女性部

— 全国連会長表彰 —

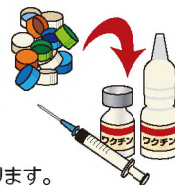
優良女性部
早川町商工会女性部、韮崎市商工会女性部
甲斐市商工会女性部
女性部功労者
道志村商工会女性部 部長 山口かおるさん

商工会女性部 「エコキャップ」回収事業報告

誰でも参加できる身近な「エコ」及び「社会貢献」活動の一環として、継続事業として今年度もペットボトルのキャップ回収事業(「エコキャップ」回収事業)に取り組みました。

今年度の取組で、ポリオワクチンに換算すると約86人分、はしかに換算すると約18人分、BCGに換算すると約246人分のワクチンの購入費などにすることができ、CO2排出量の削減にも貢献出来ました。ご協力ありがとうございました。

※ワクチンの種類により、何人分のワクチンになるかが変わります。



	令和3年度	令和2年度	令和元年度
エコキャップ数量	863kg	1,181kg	1,422kg
エコキャップ個数	431,500個	587,640個	618,619個
ワクチン(ポリオ)	約86人分	約118人分	約568人分

編集後記

二〇二二年を振り返ると東京オリンピック・パラリンピックが思い返されます。感染拡大防止のため、一年延期に加え無観客開催となつてしまいましたが、レスリングの黒選手・文田選手、卓球の平野選手、バレー高橋選手、山梨県出身の選手活躍と、自転車ロードレースのコースが道志村・山中湖村となったことにより、コロナ禍において沈んだ気持ちになつてきた山梨に大きな希望と勇気をもたらすことが出来ました。

また、新型コロナウイルスの影響は大きく、女性部においては会議や研修等はリモートでの開催を余儀なくされ、部員同士が直接顔を合わせる機会も減少してしまいましたが、ワクチン接種が進んでいくにつれ新規感染者数が減少したことにより、昨年中止となつてしまつた交流研修会を無事開催することが出来ました。

二〇二二年は関東大会が山梨県で開催されます。わたしたち女性部員一同、心を一つにして大会を盛り上げていきたいと思います。

結びにあたり、ほほえみ発行にご尽力・ご協力頂いた編集委員並びに関係各位の皆様に感謝申し上げます。

女性部広報誌編集委員会

委員長 山口かおる

生活に役立つ情報

山梨県商工会女性部連合会
副会長 若月 英子

米麴とおからの味噌

米麴とおからでお味噌が作れることを知っていますか? 「おから味噌」は、原料のおからは低コストで、ゴミを削減できて、身体にも環境にも良く、一石二鳥も三鳥も四鳥にもなるサスティナブル(継続可能な)クッキングです。

材料 米麴 …… 500g おから …… 250g
豆乳 …… 180cc 塩 …… 100g

- 作り方
- ①米麴と塩をポリ袋に入れて、米麴をほぐしながら袋を振ってよく混ぜる。
 - ②おからに豆乳を少しずつ加えながら、まとまって団子状にする。
 - ③①と②をよく混ぜる。
 - ④保存容器に入れ、よく空気を抜いてラップをピタッと貼り、重しをのせて2か月～6か月で仕上がる。

★おいしくなるコツ ・空気をしっかり抜く事
・ジップロックを使うのもOK ・味噌の熟成は夏を越すと◎



《編集委員》

委員長

山口かおる (道志村)

副委員長

鈴木保子 (身延町)

委員

河内正子 (南都留中部)

雨宮千鶴子 (笛吹市)

若月英子 (甲斐市)

平塚明美 (甲州市)

一ノ瀬恵子 (市川三郷町)

望月千代子 (早川町)

山田喜代美 (韮崎市)

有田まゆみ (中央市)

田中君江 (都留市)

佐藤ひで子 (上野原)

梶原みほ子 (河口湖)